

(会議の経過) 第5回波賀中学校区幼保一元化に係る地域の委員会

発言者	議題・発言内容
事務局	※ 事務局より協議・検討の経緯と、2月16日と2月19日に行われた保護者説明会についての報告
委員	保育所については、こども指針等が出ている関係上、保育所が認定こども園になるという考えのもとに親自身もそういう考えを持っており、認定こども園として歩みだす上での意見があったように思う。子どもを預けるのは現状で満足していて、もし認定こども園になった場合でも現状が変わらないようにしてほしいという発言がみどり保育所では6名あった。波賀幼稚園の方では現状で満足している、親の選択肢を残してほしいという考え方が多かったように思う。幼稚園と保育所でのニーズが違い、また対等の条件ではない。幼稚園では幼稚園教育が4歳5歳にされるが保育所のシステムがない。しかし保育所ではそれらすべてが整っている。元になるものがぜんぜん違う。幼稚園の親としては、何故同じ保育設定ができないのか、同じ土俵の上に立って考えればどちらがいいか選択できるが、歩み寄りがないまま現在に至っている。幼稚園を残してほしいという発言が多数あり、15～6名が質問をされた。現状を残してほしい、公立にしてほしいという意見があった。幼稚園保育所それぞれのPTAの方で意見があれば出してほしい。
委員	幼稚園から発言する。2月19日の説明会は子育てグループからの参加もあり、野尻の方からも何人か来られていたのだが、全員が全員、満場一致のような形で幼稚園を残して欲しいというものだった。3歳児のあおぞら幼稚園も5日の完全実施に。
委員	2月に結論を出すということであったが、ガイドラインが出たのが1月であるから方向性は近づけていくが、結論を出す段階ではない。保育が現在週3日なのを5日にはならないかという点について、市の方で意見はあるか。
事務局	地域のみなさんがご存知の通り、14年に野尻、15年から波賀で、16年から週3回の試行をしている。週5日完全実施の要望もあったが反対意見もある中、3日になった経緯を確認した。こども指針にもあるように宍粟市は3歳児からの幼児教育に取り組むことを考えているが、職員の配置や市全体の制度として、波賀だけが先行して完全実施をする結論には至らない。時間をいただき、他に与える影響等を考え検討させていただきたい。
委員	完全実施の要望が波賀の幼稚園から出たが、市内で完全実施できている園はあるのか。一宮北の幼稚園はできているのか。
事務局	預かり保育について、一宮は全幼稚園で実施している。山崎では山崎幼稚園と河東幼稚園で預かり保育を実施している。
委員	千種でも預かり保育はあったのではないか。
事務局	千種では以前から無い。千種幼稚園で長時間保育を希望する場合は杉の子に委託しているのだが、制度はあるが利用者は無い。千種北幼稚園が休園して千種幼稚園になった時から始まっている。
委員	週3日を週5日に対応できなくても、預かり保育については他3町にあるので波賀にも導入してもらいたい。他と統一してもらいたい。
委員	預かり保育については、話し合いは進んでいないのか？
事務局	旧町時代から預かり保育はあった。旧町時代の事務事業を引き継いで、現状一宮と山崎にある。あずかりについては合併後、市内に拡充するのもしないのか調整されたが、幼保一元化推進計画を策定する中で幼保一元化施設が担うべきだろうという

委員 委員	<p>ことになり、市内拡充しないことになった。</p> <p>以前あずかり要望あったが、波賀の幼稚園では必要ないという意見があった。要望があるかどうかではなく、平等にしてほしい。こども園にせよ何にせよ、全市一斉を願う。波賀だけが先行するのではなく、山崎の人も一宮の人も、こうなるのだと分かってからこども園にする話し合いをするのも手だと思う。波賀だけが先行する必要はないと思う。そこで不平等なことをいうのであれば、預かりがない部分を波賀に入れてもいいのではないか。要望の有る無しではなく、一時保育が必要かどうか聞かれたことすらない。なんでないのか…ぐらいの意識。1～2時間見てもらえれば病院に行くときなど助かることは常にある。できれば幼稚園で見てもらえれば子どもも助かると思う。</p>
委員	<p>週3回の保育は署名活動によって実施された経緯があったように思う。反対されたことを声高に言っているが、実施自体は保護者や地域の方々の署名活動によるものだったのでは。そして合併した時に3歳児保育を残して欲しいというのも署名活動によって実施された経緯があるので、教育委員会が週5回にしたかったのに反対意見があったから週3回に減ったということはないはず。</p>
事務局	<p>私の説明不足であった。保護者の署名もでていて、そうでない意見もあり、当時の町長の判断で週3日に決定したというところまで確認したが、その根底にどういう意図があったかまでは確認していない。反対の動きがあったことを声高に言ったつもりはない。事実を申し上げただけ。</p>
委員	<p>3歳児保育はどうしても実施してほしい。職員も配置されているし、5日にしてほしい。波賀のみするわけにはいかないというのは納得いかない。3歳児はいるし、今もしているのだから、あと2日実施してほしい。</p>
委員	<p>3歳児保育について実施の署名活動はしたが、その反対意見というのは署名活動であったのか。</p>
事務局	<p>それは確認していない。</p>
委員	<p>ではなぜ署名活動した分が通用せずに、単なる反対意見というのが採用されたというのが納得いかない。署名活動の方が行政に対して有効なのでは？</p>
委員	<p>他の地域との関連も含めて話を煮詰めてほしい。結論はここでは出ない。波賀の幼稚園保護者の意見を汲んで結論を出してほしい。</p>
事務局	<p>波賀だけができないというわけではなく、市全体の制度として、預かりの制度もできたら公平にしたいと考える。市は合併したので、他にも合併の未調整項目の課題がある。例えば教育関係では遠距離通学制度なども町ごとでまちまちなままだ。小中学校のスクールバスの有無なども市は課題として捉えている。公平になっていないというのはわかっている。どうやって仕組みとして構築して公平にしていこうというのは調整する必要があると考えている。</p>
委員	<p>幼稚園の親も緊急に困るということもある。そういうことを考慮していただき、預かり保育を取り入れる方向で進めてもらいたい。</p>
委員	<p>幼稚園の要望があり、保育所の要望もあり、当面は幼保一元化をしないというのなら、ここで話し合うことはないのでは？</p>
委員	<p>幼保一元化になるまでに、いざ幼保一元化になる時にすぐにはできないのでこういった話し合いが必要だと解釈している。</p>
委員	<p>では、最終的な着地点として、何年後に「こうしてこうなるのだ」という考え方をしなければ、結局一元化せずに済んでしまうのではと思ってしまう。着地点として、やはり幼保一元化にするのだ、こども園ができるのだというのなら、同じ土俵に上げ</p>

委員	<p>てきて、同じようなことやってみて、寄せていく考え方をするのか、要望だけを上げて平行線のままいくのなら、それはここでする話ではないと感じる。</p> <p>この話し合いを持っている以上、幼保一元化という着地点はある。幼保一元化というのは、ハード面もソフト面も即できるわけではない。1年や1年半ではできないだろう。その間の親の緊急的な課題としてこういう話し合いが必要。どっちになるかは今話し合っている。公立がいいか私立がいいか。市の方は私立がいいと言うが民意をなるべく反映してほしいと、こちらの要望も出している。</p>
委員	<p>何年後かに着地点をもっていかないと要望と着地点までの展望が見えない。ましてや年度末で、来年度には役が変わる。次の役の人が来ないと議論が始まらないのでは。最後の着地点を、何年後にはこうするということができないのなら、こうなった場合は着地しようというような部分を作るべきではないか。</p>
委員	<p>着地点については副会長とも話し合ったが、5月の市長選の結果を見ないと着地点を見いだせないのではないか。だからといって、今の幼稚園の要望を無いことにはできない。</p>
委員	<p>平行線のまま着地点を見いだせないなら、ここでする話ではないのでは、と言いたかった。</p>
委員	<p>委員会の中の雰囲気、なかなか見えてこないのでもまずモデルを見てからという話があった気がする。具体的に言うと、2年先に千種、3年後に判断。それからすると5～6年先になる。5～6年先をどうするかといえば、3歳児保育。しかし市が、幼稚園の3歳児保育は去年の行政懇談会から出てきて、市は3歳児保育をしてくれるという話になって。一宮・波賀の違いは、波賀はまず3歳児保育をどうにかしてほしいと署名があった。波賀幼稚園もやりましょうという時にある筋から反対があって、3日でしましょうという経緯があって。一宮はといえば、3歳児保育はしないが預かり保育はしますということだ。具体的に幼稚園を残すということになれば、3歳児保育もして、預かり保育もしてくださいということになるのでは。この話し合いは長くなるように思う。</p>
委員	<p>最終的にこども園になるということが、波賀幼稚園のお母さん達は、公立でも私立でもイメージできていない。実際預けている幼稚園が、表現は悪いが民の保育所がこども園になるなら、幼稚園がなくなってしまうというイメージしかない。最終的な着地点が、公立のこども園になるというイメージがどこにも無い。今言われているように、見事な平行線。こっちは保育所のことわからないし、きっと保育所のお母さんも幼稚園のPTA活動などやっていることがわからないと思う。お互いをわかり得ていないのに2年でくっつくと言われても実際の子どもが可哀想だというのが親の気持ちだ。それこそ5～6年かかっても幼稚園のお母さんはわからない部分だけだと思う。どうやったら一つにまとめてやっていけるのか。こっちは逆に聞きたい。</p>
委員	<p>自治会の役員に報告した。幼保一元化で5回も会議したが、市としては幼保一元化をやってもらいたいという話になっているが、方向性が定まっていなくて報告した。次の会議でも定まらないだろう。なぜなら幼稚園の希望と保育所の良いところを出し合っているだけで、まとまっていなくて。それを幼保一元化になったら希望を叶えましょうという市の約束もないから、まとまらない。要望を出し合っているところですよ、という報告をただけだ。どれだけ委員会を開いても何も決まらない。</p>
委員	<p>方向性は出ている。指針やガイドラインなど。</p>

委員	方向性が出ているのなら、市が希望を受けてくれるのかどうか教えてほしい。要望を出したがそれはだめだ、ばかりでは話し合いにならない。要望を幼稚園は幼稚園でまとめて、保育所は保育所でまとめて教育委員会などに言うかしないと進まない。しかし要望を言ったところで回答ももらえない。ここで意見を吸い上げてもらうにもならない。市の考え方を伝えてほしい。次の委員へ引き継ぎができない。
委員	話し合いが平行線であることについて他に意見はあるか。
委員	ここに集まっている人の意見を教育委員会がもっと受け入れてくれたらスムーズに進むのだが。
事務局	幼稚園側の気持ちもよく聞いている。課題整理として難しい。考えていただきたいのだが、委員の発言の中にもあったと思うが、こども園がどんなものになるのか伝わっていない。宍粟市の中に不公平がある預かり保育や3歳児保育など、この課題を整理することと、それができなければこども園にする協議ができないと言われるのであれば、立ち止まっていたら、それはその課題として考えてほしい。保育所の皆さん、幼稚園の皆さんが、こども園になったらどうなるのか考えてほしい。市の説明が十分に伝わっていないと思うが、少なくとも市としてはこういう考えであるという提案はさせていただいている。中身の部分を、お互い保護者の皆さんに意見交換をさせていただいたり、保育所は保育所で意見交換をさせていただいたり、あるいは教育委員会と一緒に具体的な内容を意見交換させていただく。こういうことをしないと、委員がおっしゃった通り、要望というのはよくわかるが、それが通らないとこども園の議論ができないという風にはしてほしくない。
委員	幼稚園側と保育所側から意見が出ているが、それを教育委員会に伝えても断られる。教育委員会も、そこは譲ってくれたらもっとスムーズに進むのだが、ここで議論したことを駄目だと言われたら先に進まない。
委員	ここの委員会がなんであるのかわからない。決定権、裁量権が教育委員会にあるのなら勝手にやってもらったらいい。何のためにここに集まって議論したり勉強したりしているのかわからない。
委員	市は一元化したいのだろう。幼稚園の良いところ、保育所の良いところを、一元化して集めてほしい。これができるのかと言ったらできないと言う。協議会が決定したらやるとかやめるとか動きはあるのか。決まっているところを話し合っても意味が無い。意見を言っても何も通っていないことになる
委員	もともとは公立か私立かという話だった。
委員	公立、私立それぞれでいくら儲かるのか、どの程度経費が安くなるのか、市でしていたものが私立になってどのぐらいレベルが下がるのか、そういう話をしないと。親の前ではできない話なのか。私は部外者なので一緒にすればいいという思い。子どもも少ないのだから一緒に広々したところで遊ばせればいい。そういうところを打ち出していかなければ。
委員	ひと所で大勢の中で幼稚園教育をするというのが望ましいということは言われているが、少数でいいのであれば子どもの話はなかったことになる。
委員	少数教育も必要、多人数教育も必要というのは幼稚園保育所だけでなく小学校も中学校も必要だ。大学などは少人数だが、年齢的に集団で生活するのがいいと教育は決まっているのでそれでいい。小学校などは大勢で集まってするのが望ましい。
委員	もともとは学校規模適正化の問題と幼保一元化の問題、給食センターの問題、3つの問題が出てきた。その問題で学校規模適正化と幼保一元化は平成25年4月1日スタートだった。段階を踏んで、説明会、地域委員会、それから協議会となった。

	<p>給食センターの問題は行政主導でやる、学校規模適正化と幼保一元化は地域の意見を尊重して進めることになり、地域委員会でやるかやらないかの結論を出せという話だった。意見は聞くが答えは決まっているようだった。みんなの意見を教育委員会へ持って帰って決めるとなっていた。それが25年4月。ところが今、学校規模適正化は27年4月となり、協議会で2年間進めて検討していくと。幼保一元化に関しては何年を目指すのか、25年ではなくなって、何年後になるのかわからない。会長が言うように民営化になるのか公立でいくのかでギャップがある。ここでは公立にするか私立にするかの決定権は無いのか。</p>
委員 委員	<p>ここでその要望を出すのではないのか。</p>
	<p>4～5年前にアンケートがあった。幼稚園や保育所に関するアンケートで、現状と今後どういった施設を望むかという内容だった。その結果多かったのが幼稚園の充実と預かり保育だった。そういった意見が多いのに教育委員会は幼保一元化を望む声が多いと発表している。その時は公立か私立を問うものは無かった。その中で幼稚園と保育所が一緒になればと思っている人が幼保一元化や、なぜかアンケートには無かったのに私立のことを教育委員会が言ってきた。アンケートの結果が全然反映されていないことが出てきたのでこちらとしては混乱している。幼保一元化や認定こども園などわからないうちに取られたアンケートだった。</p>
委員	<p>現実味を帯びていない当時のアンケートだった。認定こども園など知らなかったと。どうすればいいのか？</p>
事務局	<p>今、委員が言われたアンケートは「次世代推進行動計画」の後期計画を作るときのニーズ調査だと思う。21年2月ごろに実施した。その時に子育て支援で必要な施策は何かということで、幼稚園か保育所か認定こども園か、またはもっと別の医療費の負担軽減など、色々な施策がある中で、認定こども園が30%ほどあったはずだ。ホームページにデータが公表されている。その時に公立か私立かは問うていない。そういったデータを参考にして21年8月に幼保一元化推進計画を策定した。数字については幼稚園が多いか預かり保育が多いかというものではなかった。</p>
委員	<p>データに基づいて幼保一元化が進められていると。幼保一元化についての親の考え方はまだできていない。幼保一元化は必要だと。</p>
委員	<p>当時のアンケートで幼保一元化がどういうものかわかっているのか。保育所はお金がある、幼稚所はお金がかからない。保育所は0歳から見てもらえるし幼稚園は3歳から。保育所に預けているように幼保一元化になったら同じように預かってくれるのか。それは分からないと言われる。</p>
事務局	<p>認定こども園になると幼稚園の部分と保育所の部分は重なる。0～5歳児を受け入れる施設になる。短時間では幼稚園と同じ定額で5,000円。長時間は今の保育所は所得に応じて、宍粟市では1段階から11段階まで設定されている。</p>
委員	<p>幼稚園は無料では無かったのか。5,000円が高いのなら3,000円にしろと声をあげればいい。条例を変えればいいではないか。0～3歳児の親は自分が勤めに行きたいからそんなに高くても払う。</p>
委員 委員	<p>この程度の認識である。 幼稚園の保護者は週5日を2年ほどやって、いい結果が出たらこども園に結びつくのか？こども園になることを目指して5日にして欲しいと言っているのか。</p>
委員	<p>幼稚園の親としてはこのままでいいと感じている。母親が働いているなどの理由があるから保育所へ、幼稚園の親も幼稚園を選んで行かせている。その2つを一緒にされてしまうと、公立がなくなって親としては困る。それよりも、0～3歳児の母</p>

委員	<p>親にもっと説明して、その人たちが5年後にこども園になるのが良いと言うならそれで良いと思う。3年後には幼稚園から子どもがいなくなる自分たちにこの課題を任されるのは重く感じる。0～3歳児の母親に教育委員会は説明すべきだ。保育所の親も現状満足している。今のサービス内容で満足しているのも、もし一緒になってもサービスの質が下がるようなことにはなっていて欲しくないという意見が多い。こども園の移行は、絶対無理だという意見は無かった。また、どうあっても今の状態でいて欲しいという意見も無かった。一緒になるのならこうして欲しいという意見はあった。委員が言われたように親の世代も変わっていく。この1年でも10数名の子どもが卒園していく。長くやったからといって親の理解が深まるわけではないのでは。</p>
委員	<p>その通りだ。みどり保育園もできた当初は運営できないほどの少人数だった。今は人数も変わって、保育所は時代にあったものになってきている。昔、親は働きに出なかった。</p>
委員 委員	<p>3歳までは保育所に預けて4歳から幼稚園に行くのが当たり前のような時代は変わってくる。幼保一元化になって、地域住民としてはできるだけ安く、子どものためになる施設になれば良い。悪いものになるのであればやめて欲しいと思うのは当たり前。</p>
委員	<p>半日で帰る子どもと長時間いる子ども、夏休み冬休みがある子どもとそうでない子どもが同じ場所にいる。運動会や発表会など、時間的に差があるのに同じものができるのか。今のレベルを維持するというのが難しいのでは。</p>
委員 委員	<p>そこは父兄も子どもも、いいところを見て折り合いをつければ良い。幼稚園の方も保育所の方も、一緒になるのなら今のままではいられないだろうというのは親も覚悟している。これからどうなるのか実際見学にも行ったがあまり見えなかった。なんとなく大丈夫だという言葉だけ言われた。</p>
委員	<p>わからないというところが一番の問題だ。ここへ来ている者がわからないのであれば一般の人はもっとわからない。0～2歳の子を抱えている親はなかなか外へ出る機会も少なく情報を得る機会も少ない。どこへも子どもを預けていない母親は幼稚園がどんなものか保育所がどんなものかというのかわかっていない。自分が卒園した施設の経験を元に話しているだけだ。その中でこども園の説明をされても、絵に描いた餅のようなもので、今ある幼稚園や保育所もわからないが、それより良くなるのか悪くなるのかもわからない。ひとつになりますと言われても困る。今なら波賀町に施設が2つあるので、自分の目で見てライフスタイルに合わせて選べるが、ひとつになってしまうと、それが良いものか悪いものかわからないまま選べなくなる。それが大変不安だ。モデル校のようなものも存在しないし、見えないものなのでここで話をしても理解は深まらないと思う。多くの市民がこども園をわからないままでは理解は深まらない。理解が深まらない限りは、こども園が良いものだという話にもならない。</p>
委員	<p>委員は公立と私立の認定こども園、それぞれの園を理解するために視察した。一般の親の大半はわからないだろう。ここにいる委員は見ているが、大きな変化がなかったように思う。対応の仕方は違っても同じように子どもは育っていた。宍粟市が認定こども園をすればあのような状況ができるのだと委員達はわかったが、それを保護者や地域の人達に説明するほど納得はしていないし認識が深くはない。</p>
委員	<p>個人的に調べてみたが、23年度文科省の一体化の進め方について、都市部の進め方と人口減少部の進め方というものがあつた。その例を見ると、4つある幼稚園や</p>

	<p>保育所を残したままこども園を創設し、時間の経過とともに地域の子どもの流れを見て最終的にすべてをこども園にしていくものだった。ここは人口が減っていく地域だ。山崎では幼稚園や保育所が何ヶ所もある。それをどうやって取りまとめるのか。今、各幼稚園や保育所はそれぞれ個性を出して素晴らしい教育をされていて何も問題ないように思う。それなのにそれをひとつにしようとするから無理がある。現状のままこども園を創設して、それが良ければみんなこども園に行く。ひとつにするように進めているが、方法を工夫して時間をおいて見るのが良いのでは。こども園が悪いとも思えないし、良いものともわからない。アンケートでは選択肢を残して欲しいと回答した。姫路市などは着実にこども園になっている。こども園を先に作ってしまったり、従来からある保育所の名前がこども園になったりしている。全国的にも進んでいないし、今どうしてもやらないといけないのか。</p>
委員	<p>こういう意見は良いと思うのだが、取り入れられるのか。</p>
委員	<p>良い意見だが、市は一元化したいと言っている。両方出来れば親の選択肢があって、何年か後には一方に収まってくるのではないか。</p>
委員	<p>委員会はそういう意見だと出せば良いのでは。</p>
委員	<p>それなら親も色々見られると思う。私立のこども園、公立のこども園、2つを作って5年後に親が選択するのであればいい。親のニーズが大切である。</p>
委員	<p>保育所と幼稚園で話し合った結果が大事。波賀町は効率化するのではなく、地域性を活かして選択肢を残したままいて欲しい。</p>
委員	<p>野原校区でも2月11日に臨時総会を開いた。最終案として会で承認を得たが、地域で二元化を残して欲しいという意見が多く、野原校区としては一元化を進めないで欲しいという意見を出す。一度留め置いて少人数の対策としてこども園のことを考えるので良いのではないか。二元化の維持を強く願っている意見を聞いて欲しい。</p>
委員	<p>こども指針などを見ると、幼稚園と保育所とを両立させる考え方は持っていない。幼保一元化になるか、今の幼稚園と保育所を残すか。今の話では、幼稚園と保育所を残してもらいたいというアンケート結果があるのか。幼保一元化はもう少し検討して、市の案は受け入れ難いというように聞こえた。</p>
委員	<p>その通りだ。二元化の維持を望む。他の人にも理解を深めてから一元化を進めるのなら良いが、一旦留め置いてもらわないと話がややこしくなる。</p>
委員	<p>市としては幼稚園を一元化していくつもりはないのか。</p>
事務局	<p>社会福祉法人を担い手として保育所において幼保連携型の認定こども園を進めたいのが、市の考え方である。地域の委員会では地域の大きな方向性を決めてもらうことにしている。実施の時期や場所、運営主体、3つの方向性である。しかし現状を考えると、近々の課題として3歳児保育や預かり保育など、不公平な部分をどうにかしてほしい意見がある。市は波賀町域の中では5歳児が30人、4歳児が25人、3歳児30人、2歳児29人、1歳児17人、0歳児21人いる。市としては一ヶ所の認定こども園を開設したいと考えている。認定こども園が保護者の方々に見えていないという意見も多かった。そこを丁寧に説明するのは我々の仕事であり、まだ視察に行っていない方に視察に行ってくださいのも必要であると考え。認定こども園そのものを地域の皆さんが受け入れられないのか、幼稚園や保育所でない駄目なのか。この協議は引き続き行うべきだと考える。最終的に地域の方向性を出してもらえたら良いと考える。</p>
委員	<p>地域委員会は必要かそうでないかを決める場ではないのか。</p>

事務局	地域委員会にお願いしているのは3つの方向性である。市としては幼保一元化を進めたいので検討して欲しいが、結果として幼保一元化しないという結論になった場合も事務局はそれを妨げない。
委員	委員会は意見をまとめて市に提案すれば良いだけか。幼稚園と保育所の継続を委員会の意見として提言すれば良いのか。
事務局	教育委員会から地域委員会の役割についてのフロー図で説明している。市が示した方向性、実施のあり方を導き出して欲しいというお願いはしているが、その中で、協議が整わなければ一時繰延べることも示している。今の段階では時期尚早なので様子を見たり、保護者の方が理解できるまで時間をかけることなどもこの委員会で協議してもらえれば良いと考える。
委員	理解できるような説明会等を検討していかなければ、市の考えている結論には至らないだろう。
委員	では、ここで話した要望は汲み入れてもらえないのか。
事務局	幼保一元化を皆さんに理解いただいていない状況であるので、地域として認定こども園を選ぶかどうかの課題と、現状の克服すべき課題を、分けて整理をしていただきたい。地域の皆さんが、提案したものを即座に対応してくれないと進めないと言われるのであれば止まざるを得ない。市内にある色々な不公平、3歳児保育の普及などは市全体の仕組みとして考えなければならない。それはそれとして検討する。それとは別のところで、認定こども園というものをみなさんが納得できるように、視察をしたり小グループでの意見交換をしたり、そういうものを組み合わせて説明させていただくのが我々の仕事だ。認定こども園に対する要望と、現状の課題を克服する問題は分けて考えていただきたい。
委員	この委員会で、最終的に2つに分けたいという意見が出ているということは、市がお願いしていることは全く伝わっていないのではないのか。つまり、こちらの意見を聞いてもらえないからではないか。いくら説明されても伝わらない。こちらの言い分を聞き入れた上でお願いされるなら話しは進むと思う。視察に行った際、大体の人は公立が良いと感じていたように思えたので、公立で開設するようにお願いしたら、民でできる場所は民でという回答だった。こちらは百歩譲ってこども園にしても良い、その代わりに公立で頼むと言っているのに、それは無理だと言われたら歩み寄りようがない。いくら説明されても、こちらからそちらに歩み寄るのは難しく思える。
委員	2つのこども園を作って、5～6年掛けてでも選んでもらえるスパンを教育委員会は考えないのか。
委員	こちらのお話を全く聞き入れてもらえていない。何か言ったら何か答えてもらわないと次に進まない。ずっと平行線のままだ。
事務局	地域の委員会でどうしても公立こども園をつくってもらいたいという結論もあると思うが、市としては以前も説明したように社会福祉法人を基本とする民で運営するとしている。公立で運営して欲しいという地域の意見は尊重するが、すぐには公立で運営するという返事は出来ない。
委員	ある程度ここで結論が出て、そのまま受け入れてはもらえないのか。
事務局	社会福祉法人で運営するのと公立で運営するのと、どう違うのか。こういった議論がもっと深まった上で判断して欲しい。要望を聞き入れてもらえなければこども園のことを考えられないということかもしれないが、こちらとしてはこども園が社会福祉法人の運営になったとしたらどこに課題があるのか、市としては今より良いも

委員	<p>のになるであろうと考えて説明している。説明だけではわからないので現場の視察もしていただいた。市内で今後先行するであろう園を視察していただくことも考えている。絶対公立でないといふ駄目なのか、議論してもらいたい。</p> <p>以前も言ったが、こちらが公立の幼稚園の悪いところを聞いても答えてもらえない。民間でできるところは民間でということは、民間の方のレベルが上だということになるが、公立の悪いところを聞いても教育委員会は答えられない。公立であれば予算や人事など教育委員会が一括して管理している。維持管理なども。民間でできることは民間でとは言いが、民間は差が生じる。零細企業もあれば大企業もある。民間でできることは民間で、と片付けるから説明不足だと感じる。公立ではなく私立が何故駄目なのかの議論をこちらに振られるが、こちらが問うていることをこちらが答えていないことがたくさんある。</p>
事務局	<p>公立の幼稚園と社会福祉法人の保育所の比較検討よりも、こども園という仕組みの中で何が不安なのか議論する必要があると考える。こども園の全体像が見えないという意見もあるが、地域の中で方向性を決定いただきたい。</p>
委員	<p>指針やガイドラインを見ると公立と私立の違いはかなりあったように思う。幼保一元化を進めるにあたって、こども園を公立か私立かを抜きにして進めて行きたいというのは以前からの方針であるならば、不安を解消するための方法を地域の人達にも伝えていかなければならない。ここでは同じ意見しか出ない。この委員達の不安も解消できていないのに委員会に出てきていない人達の不安が解消できるわけがない。教育委員会も幼保一元化に向けて、保護者の理解を得るための方法を考えなくてはいけない。最終的に公立にするか私立にするかは保護者の判断を仰いで意見の集約をすべきだ。不安や違いはこの委員会の中ではわかっているが、地域の人達や他のPTA会員にはわかっているし理解も深まっていない。むしろ0歳から3歳までの保護者はそういった機会もなく情報提供が必要である。</p>
委員	<p>学校規模については先般協議が決まったが、こちらでは通信を出して周知していた。興味のある人は見えていた。幼稚園と保育所の保護者が集まって、周知とともにミーティングを重ねないと理解は難しい。委員会より時間をかけるべきではないか。その上で、最終的に子どもが少なくなった時にどうするか考えては。</p>
事務局	<p>学校規模適正化の協議の中では、議論も大事だがまず保護者に説明をし、それから地域委員会の中で協議しようということだった。ここでもそういう手法が良いとするなら、事務局はそのようにさせていただく。</p>
委員	<p>また幼稚園や保育所で説明会を開くということか。</p>
事務局	<p>どういう機会を開くのが負担にならないかは相談する。</p>
委員	<p>別々の日ではなく、同じ日に一緒に行なって欲しい。別々の日だと別々の意見しか出てこない。同じ場所で一緒にすれば幼稚園側と保育所側の意見が出た時にお互いに話し合える。ずっと別々にしていたら幼稚園側は残して欲しいという意見しか出てこない。こちらの要望を出しても結局市の方で取り入れてもらえないなら一緒だ。視察に行った際も、向こうの市の職員は市で一本化するという考え方もなかったし、地域に応じたやり方で、地域が公立を望むならば公立で進めると言っていた。波賀でも別々に残して欲しいという意見が出ているので、市も頭を柔らかくして、民間でできることは民間でと言わず、せつかく委員が各所の意見を吸い上げて発言しているのを無視せずに聞き入れて欲しい。</p>
委員	<p>最初の、民間で、というところに意見の隔りがある。幼保一元化で民間が抜きになれば幼保一元化はすんなり決まる気がする。</p>

委員 委員	<p>どんどん公立の施設が無くなっているような気がする。給食センターも学校も。今のままでは更に不安が拡大する。ここに参加していない人は幼保一元化そのものが十分に理解されていない。理解してもらうための方法を考えていかななくてはいけない。そうでなければ、この委員会としては今の話を継続していかなければ仕方ない。引き続き委員会への参加を願う。</p>
委員 委員	<p>保護者でなくなるのにこの場に来ても、熱が入らないのだが。現時点で市の意見は受け入れられないということを示したい。その上で子どもが減っていく将来、何か手を打たないといけない。例えば1年後には新たなメンバーで集まって、また0～2歳の親に集まってもらえるような段取りをして、決定とするのも良いと思う。</p>
委員	<p>波賀町の場合は公立園と私立園が一つずつある。保護者がどちらの園にお世話になるか、選択肢を残すのも公立の責任だと思う。選ぶのも公だから民だからではなく、働いているから保育所に、家にいるから幼稚園に、という簡単なこと。野原と野尻の人数が少ないので公立の一本化をして欲しいという要望をしたが答えをもらっていない。それを元にして野原校区の保護者は学校規模適正化のことも踏まえて幼稚園の親も小学校の親も一緒に話し合いをしていると聞いている。とても深刻な問題として取り上げられているが、野尻幼と波賀幼が行なっている交流を支援しないのか。他町を視察しても自分たちの地元ではニーズが違う。0～2歳の保護者に、市としてこう支援してゆくゆくはこうしていくと説明が必要。公立の一本化はもう無い話なのか。</p>
事務局	<p>幼保一元化を進めながら、来年度の入園人数が少ない園について、少しでも多い人数の中で教育を受けてもらいたいということで、特に野尻幼稚園に波賀幼稚園と統合の話をしている。しかし先ほど意見があった通り野原校区では学校規模適正化に合わせて幼稚園も二元化維持の中で幼稚園の統合をしたいと聞いている。</p>
委員 委員	<p>幼稚園は小学校規模適正化の年に一緒にひとつにするのか。間違っても小学校だけ一緒になって幼稚園は残るなどということにはならないと学校規模適正化の方で返事はもらっている。行政懇談会の度に2年前から幼保よりも幼稚園の統合について発言していたが今回教育委員会からその話がされたことを確認できた。野尻幼稚園の方は人数も増えて頑張るとのことだ。その意見を尊重するというので、野尻幼稚園と波賀幼稚園を今すぐ一緒にはしない。</p>
委員 委員 委員	<p>学校規模適正化の方では返事をもらっているのか。 そうだ。 今質問をしたから幼保一元化にも返事があったが、教育委員会から先に話があってもいいのではないか。</p>
委員	<p>(野尻幼稚園会長として) 前回この場で話をさせてもらった。</p>
事務局	<p>野原小学校で話はしたが、教育委員会に表立って要望書を出したわけではない。特に要望などはいただいていない。25年度の入園状況を見ると非常に少なかったため、対象の保護者の方に統合の話を持ちかけた。土万幼稚園は25年度申し込みが年長2人だったので統合の話を持ちかけ、地域との話し合いの結果25年4月より菅野幼稚園に統合して、土万地区から菅野幼稚園に通うことを決定した。</p>
委員	<p>さっき言っていた3日と5日でズレが生じることの方が、小学校の規模適正化と同じぐらいに近々の課題だと感じる。それは別に考えて欲しいと言われたが、3日と5日の違いはこの2年で詰めていかないといけない。</p>
委員	<p>規模適正化のときは3つの小学校を廃校にして新しい小学校を作るということに</p>

委員	なるが、今回野尻幼稚園と波賀幼稚園を廃園にして新しく作るのか、吸収合併する形にするのか。どういった仕組みを作っていくのか。通園バスの問題もある。まだ今回も結論は出ない。この委員会での結論を出すとすれば現状維持ということになる。市がどうしても幼保一元化と言うのなら理解されるように努力するほかない。話し合いを続けるためにも引き続き委員をお願いしたい。
委員	P T A会長などが交替した場合意見集約が難しいのではないか。
委員	次回は5月27日に行う。委員は継続してお願いする。
委員	5月27日は総会形式にして引き継いでもよいか。
委員	交代してもよい。しかし出来る限り継続をお願いする。
委員	教育委員会が目指す3つの方向性、実施時期や実施場所、程遠い内容であった。また地域委員会に引き継ぐが、また説明会に逆戻りするのか。行政の考えと保護者の考えがかけ離れたものになっている。教育委員会の指導力でやっていかないと収まりがつかないのでは。強引にやっても、それは仕方ないのではないか。話し合いはまだ続くが、なるべく多くの委員に残ってほしい。